日本工学院専門学校開講年度			2020年度 科目名 資		資格対策				
科目基礎情						1			
開設学科	電子・電気科			コース名	電気工学コース		開設期	前期	
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	30時間		
単位数	2単位		71 1 1 2 3	X2.J/ (授業形態	講義		
	 資料を配布する。参考書等は、授		<u> </u> 業由 <i>に</i> 指示	<u>【</u> する		汉未///总	HT 32		
担当教員情			自分は、汉	来们们间外	9.00				
12 3 X 及 16 	曹原 宏之					→		右,雷气]	
学習目的	日/ぶ 仏人				実務経験の有無・職種		日本のよりものもれ上に区間日末初		
		の取得を目指	al 第一種	雷気工事十届	家討騒の筆	記試験の受験	に必要な知識を	学ぶ	
また既に電 き 	気工事士資格	を有する者に	には授業を通	して知識の再	確認と向上	を目指す。			
到達目標	気工事士国家								
授業概要	第二種電影	⊥事士資格を	に出題される			どを参考にして	て学習する。		
	第二種電気 既に電気 出席状況も重	⊥事士資格を 重視する。							
授業概要	第二種電気 既に電気 出席状況も 種別	⊥事士資格を 重視する。 割合	有する者も知	口識の再確認	と向上を目	指す。	で学習する。 備 考		
授業概要 注意点 評	第二種電気 既に電気 出席状況も 種別 試験・課題	工事士資格を 重視する。 割合 70%	有する者も知	口識の再確認	と向上を目	指す。			
授業概要 注意点 評 価	第二種電気 既に電気 出席状況も 種別 試験・課題 小テスト	⊥事士資格を 重視する。 割合 70% 10%	有する者も知 試験と課題 授業内容の	口識の再確認 ・ 出席状況 ・ 理解度を確	と向上を目を総合的に認するたと	指す。 こ評価する めに実施する			
授業概要注意点	第二種電気 既に電気 出席状況も 種別 試験・課題	⊥事士資格を 重視する。 割合 70% 10%	有する者も知 試験と課題 授業内容の	口識の再確認 ・ 出席状況 ・ 理解度を確	と向上を目を総合的に認するたと	指す。			
授業概要 注意 評価方法	第二種電気 既に電気 出席状況も 種別 試験・課題 小テスト	□事士資格を 重視する。 割合 70% 10% 20%	有する者も知 試験と課題 授業内容の	口識の再確認 ・ 出席状況 ・ 理解度を確	と向上を目を総合的に認するたと	指す。 こ評価する めに実施する			
授業概要 注意 評価方法	第二種電気 既に電気 出席状況も動 種別 試験・課題 小テスト その他	□事士資格を 重視する。 割合 70% 10% 20%	有する者も知 試験と課題 授業内容の	口識の再確認 ・ 出席状況 ・ 理解度を確	と向上を目を総合的に認するたと	指す。 こ評価する めに実施する		達目標	
授業概要 注意 評価方法 授業計画	第二種電気 既に電気ご 出席状況も動 種別 試験・課題 小テスト その他	工事士資格を 重視する。 割合 70% 10% 20%	有する者も知 試験と課題 授業内容の 第二種電気	回識の再確認 ・ 出席状況 理解度を確 ・ 工事士国家	と向上を目を総合的に認するたと 試験の合き	指す。 ご評価する めに実施する Sも考慮する	備考		
授業概要 注意 評価方法 授業	第二種電気 既に電気ご 出席状況も動 種別 試験・課題 小テスト その他	工事士資格を 重視する。 割合 70% 10% 20%) 授業内容 試験の概要と	有する者も知 試験と課題 授業内容の 第二種電気	回識の再確認 ・ 出席状況 理解度を確 ・ 工事士国家 ・ 電気に関係	と向上を目を総合的に認するたとは、 記試験の合え	指す。 ご評価する めに実慮する 否も考慮する。 電解する。電網	備 考 各回の到 泉の許容電流を	覚える	の関係を理解する
授業 授 注 意 評価方法 費 回 1	第二種電気 既に電気 出席状況も動 種別 試験・課題 小テスト その他 (1回~8回 電気工事士	工事士資格を 重視する。 割合 70% 10% 20%) 授業内容 試験の概要と	有する者も知 試験と課題 授業内容の 第二種電気	回識の再確認 記 出席状況 理解度を確 工事士国家 電気に関係 過電流遮断	と向上を目 を総合的に 認試験の合う する資格を 器の容量と	指す。 ご評価する めに実慮する 否も考慮する。 電解する。電網	備 考 各回の3 泉の許容電流を 目合せ等および	覚える	見の関係を理解する
授業概要 注意 評価方法 對 回 1 回 2 回	第二種電気 既に電気 出席状況も動 種別 試験・課題 小テスト その他 (1回~8回 電気 上語 分岐回路と配	工事士資格を 重視する。 割合 70% 10% 20%) 授業内容 試験の概要と	有する者も知 試験と課題 授業内容の 第二種電気	回識の再確認 型解度を確認 でででは、 でででは、 ででできる。 ででできる。 ででできる。 でででででできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。 でできる。	と向上を目を総合的に認動を終っている。との合うでは、との合うでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	指す。 ご評価する かに考慮する 野はする。 電解すると な知識を理解する。 な知識を理解する。	備 考 各回の3 泉の許容電流を 目合せ等および	覚える	Rの関係を理解する
評 価方法 授業計画(回 1回 2回 3回	第二種電気 既に報え 種別 試験・ スト その他 (1回~8回 電気にいる。 では、 ではいる。 では、 ではいる。 ではいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	工事士資格を 重視する。 割合 70% 10% 20%) 授業内容 試験の概要と 記電理論	有する者も知 試験と課題 授業内容の 第二種電気	回識の再確認 型 出席 状況 理事士国家 電気に関係 電気に選手 電線の抵抗。	と向上を目を総合的に認識を終する合うを終する合うをといる。	指す。 ご評価である。 がに考慮する。 でもまる。 でもまる。 ではまれる。 ではな。 ではな。 でなな。 でな	備 考 各回の至 泉の許容電流を 目合せ等および する	覚える 幹線と分岐線 を理解する	

電気工事士法、電気工事業法、電気用品取締法より主題される内容を理解する

単線図を複線図に直せる。出題内容の60%以上正解が得られるようにする

7 回

8 回

関係法令

複線図および模擬試験